

No.	004	—	2024	事務事業名	集落支援事業	細事務事業名	公的関与	9
-----	-----	---	------	-------	--------	--------	------	---

PLAN	課名	企画政策課	係名	地域振興係	電話番号	089-964-4473	メールアドレス	kikakuseisaku@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	平成 27 年度 ~ 期間設定なし	
	総合計画	政策目標	第5章 みんなでつくる協働・自立のまち		政策項目	3 地域コミュニティの育成		主要施策	(4)集落の維持活性化	
	事業の対象	人口減少、高齢化の進行が著しい過疎地域の住民				根拠法令	東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略			
	事業の目的	最終的	地域での話し合いを通じて、地域の維持及び活性化に必要とされる施策を見出し、施策の実現を図ります。			今年度	集落支援員を設置し、各区長や組長等と連携しながら集落を巡回、状況把握を行います。			
	活動内容	①	支援員の募集。			④	行政と地域との連絡調整。			
		②	支援員の設置。			⑤	地域の維持及び活性化に向けた話し合いの場づくり。			
		③	集落の巡回、点検、状況把握。							
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標
		新規に集落維持・活性化に取り組む地区		総合戦略KPI		地区	目標	5	5	5
					実績	4	4			
					目標					
					実績					

DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	総務		費	
	直接事業費	平成 29 年度決算		平成 30 年度決算		平成 元 年度予算		備考	
		国・県支出金		0 千円		0 千円		0 千円	
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他特定財源		0 千円		0 千円		0 千円	
		一般財源		1,207 千円		1,425 千円		1,294 千円	
	計(A)		1,207 千円		1,425 千円		1,294 千円		
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	601 千円	0.099 人	607 千円	0.000 人	0 千円	
		臨時職員工数・経費	0.050 人	99 千円	0.050 人	99 千円	0.000 人	0 千円	
	全体事業費(A+B)		1,907 千円		2,131 千円		1,294 千円		

CHECK・ACTION	一次評価者	地域振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持	
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)													
	必要性	人口減少や高齢化の影響による地域課題の解決に向けて、地域コミュニティと行政の連携は必要不可欠であることから、地域住民が、自らの住む地域の活動を支えながら、パイプ役となる集落支援員の役割は重要となります。													
	有効性	集落支援員は、地域を熟知した方や地域づくりに関心のある方の中から委嘱することから、地域課題を適切に把握し、解決に向けて協議を行っていく上で、効果が得られやすいのではないかと思います。													
	達成度	各地域(4地域)を担当する兼任の集落支援員を委嘱したことにより、地域おこし協力隊の受け入れに関するサポートや各地域の課題解決に向けた取組を強化することに繋がりました。													
	効率性	集落支援員の設置、集落点検、話し合いに要する経費は、特別交付税の対象経費にもなることから、集落の維持・活性化を図るためには効率的な取組であると考えられます。													
	当面の課題	各地域で抱える課題は多様化・複雑化しており、地域での話し合いの調整など集落支援員の負担が大きくなっています。													
	改訂計画	集落支援員と地域おこし協力隊員の連携性を高め、地域全体で課題解決に向けた体制を構築していくことが必要となってくると思います。													
	二次評価者	企画政策課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持	
	二次評価での指摘事項	集落支援員は地域と行政を繋ぐ重要なパイプ役ですので、集落支援員、地域おこし協力隊、地域住民が一体となって地域の課題解決が図れるような体制の構築を検討してください。													

No.	004	—	2044	事務事業名	地方創生総合サイト運用管理事業	細事務事業名		公的関与	8					
PLAN	課名	企画政策課	係名	地域振興係	電話番号	089-964-4473	メールアドレス	kikakuseisaku@city.toon.ehime.jp						
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	平成 27 年度 ~ 期間設定なし					
	総合計画	政策目標	第5章 みんなでつくる協働・自立のまち		政策項目	4 市民と行政との協働のまちづくりの推進		主要施策	(2) 広報・広聴活動の充実					
	事業の対象	東温市地方創生総合サイト「とうおんNOTE」				根拠法令	東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略							
	事業の目的	最終的	地方創生総合サイトを運用し、「子育て支援情報」・「特産品・企業紹介」・「人材バンク情報」などの情報発信を行います。			今年度								
	活動内容	①	「子育て支援情報」・「特産品・企業紹介」といった多様な情報を一元的に「見える化」し提供。			④								
		②	交流人口の増加を目的とした「とうおん応援市民」の登録、東温市生涯活躍人材バンク「まちの先生」による地域人材の活用。			⑤								
		③												
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標				
		サイト閲覧数		総合戦略KPI		回/年	目標 100,000	100,000	100,000	100,000				
					実績 74,522	68,805								
					目標									
					実績									
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	総務			費				
	直接事業費	平成 29 年度決算		平成 30 年度決算		平成 元 年度予算		備考						
		国・県支出金		0 千円		0 千円		0 千円						
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源		0 千円		0 千円		0 千円						
		一般財源		1,167 千円		1,167 千円		924 千円						
	計(A)		1,167 千円		1,167 千円		924 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	601 千円	0.099 人	607 千円	0.000 人	0 千円						
		臨時職員工数・経費	0.050 人	99 千円	0.050 人	99 千円	0.000 人	0 千円						
	全体事業費(A+B)		1,867 千円		1,873 千円		924 千円							
CHECK-ACTION	一次評価者	地域振興係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
	必要性	子育て支援に関する情報発信などは市民や本市への移住検討者に対して必要な取組であり、市の魅力を発信することで認知度の向上も期待できます。												
	有効性	本市の魅力を発信していく上で、子育て支援に関する情報や特産品・企業に関する情報など多岐に渡る分野を一元的に見える化することはサイト閲覧者に対してでも有効であると考えられます。												
	達成度	サイトのアクセス数において目標数値には達していないが一定の数値を獲得できているため、継続して情報発信を行う必要があります。												
	効率性	情報発信を行うことは重要ですが、コストの削減に向けて事業内容を見直しマンネリ化を防いでいく必要があります。												
	当面の課題	サイトのアクセス数も目標数値に届いていないことから、継続してサイトを更新し情報発信を行うとともに、サイト閲覧者のニーズに対応できるように取り組む必要がある。												
	改訂計画	サイトの一部改修や市公式SNSとの連携を高めるなど周知の強化を図っていくことを検討します。												
二次評価者	企画政策課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
二次評価での指摘事項	サイトアクセス数の目標数値が達成できるよう、常に新しい情報を発信し、サイト閲覧者のニーズに対応できる取組を進めてください。													

No.	004	—	2064	事務事業名	東温アート・ヴィレッジセンター運営管理事業	細事務事業名	指定管理者管理業務	公的関与	6						
PLAN	課名	企画政策課	係名	地域振興係	電話番号	089-964-4473	メールアドレス	kikakuseisaku@city.toon.ehime.jp							
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	平成 30 年度 ~ 期間設定なし						
	総合計画	政策目標	第5章 みんなでつくる協働・自立のまち		政策項目	4 市民と行政との協働のまちづくりの推進		主要施策	(1)協働のまちづくりの総合的推進						
	事業の対象	「東温アートヴィレッジセンター」				根拠法令	東温アートヴィレッジセンター条例								
	事業の目的	最終的	「東温アートヴィレッジセンター」の維持管理を行い、多彩な文化芸術関連サービスや質の高い公演・イベント等を展開します。			今年度									
	活動内容	①	「東温アートヴィレッジセンター」を公の施設として良好に維持管理するためのセンター内3施設(小劇場・多目的稽古場・交流サロン)の日常点検などの維持管理業務。			④									
		②	文化芸術の拠点施設として独自性を打ち出し、文化芸術の産業化を進めるための、関連サービス、公演等の実施及び滞在制作の支援。			⑤									
		③													
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標					
		「東温アートヴィレッジセンター」 貸館収入		指定管理者設定収入目標		千円	目標	7,000	7,000						
					実績	3,385									
「東温アートヴィレッジセンター」 事業収入		指定管理者設定収入目標		千円	目標	2,702	4,000								
					実績	3,248									
					目標										
					実績										
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	総務			費					
	直接事業費	平成 29 年度決算		平成 30 年度決算		平成 元 年度予算		備考							
		国・県支出金		0 千円		0 千円		0 千円							
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円							
		その他特定財源		0 千円		0 千円		0 千円							
		一般財源		0 千円		9,960 千円		9,000 千円							
	計(A)		0 千円		9,960 千円		9,000 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.298 人	1,827 千円	0.000 人	0 千円							
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
	全体事業費(A+B)		0 千円		11,787 千円		9,000 千円								
CHECK-ACTION	一次評価者	地域振興係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持	
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)													
	必要性	文化芸術に関する多彩なサービスを展開していくことから、施設運営に関して高度な知見と施設運営のノウハウを兼ね備えた管理者を指定する必要があります。													
	有効性	拠点施設となる「東温アートヴィレッジセンター」を運営することで、施設を活用した自主企画公演等の実施やワークショップの開催など多彩な関連サービスの提供が可能となります。													
	達成度	収入の面で事業収入は好調であるが、貸館収入の面では目標に達していないので、更なる集客努力を行います。													
	効率性	貸館収入や事業収入が増加するよう集客努力を行い、指定管理料の削減に努めます。													
	当面の課題	「東温アートヴィレッジセンター」を活用し、自主企画公演やワークショップなどを開催してきたことから施設の認知度や問い合わせも増加したように感じますが、貸館収入の面でまだまだ目標に届いていないのが現状です。													
	改計画	「東温アートヴィレッジセンター」を活用した各種イベントの開催や、情報発信などに継続して取り組み、新たな顧客の掘り起こしを狙います。													
	二次評価者	企画政策課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実	
	二次評価での指摘事項	貸館収入の目標値が達成できていない理由を早急に分析するとともに、自主企画公演やワークショップなど各種イベントを積極的に開催し、事業収入や貸館収入の増加に努めてください。													

No.	004	—	2065	事務事業名	アート・ヴィレッジとうおん創生事業	細事務事業名	8K映像演劇、アートヴィレッジフェスティバルの開催など	公的関与	7
-----	-----	---	------	-------	-------------------	--------	-----------------------------	------	---

PLAN	課名	企画政策課	係名	地域振興係	電話番号	089-964-4473	メールアドレス	kikakuseisaku@city.toon.ehime.jp						
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	平成 30 年度 ~ 期間設定なし						
	総合計画	政策目標	第5章 みんなでつくる協働・自立のまち	政策項目	4 市民と行政との協働のまちづくりの推進	主要施策	(1)協働のまちづくりの総合的推進							
	事業の対象	本市特有の地域資源を活かした文化・芸術を核としたまちづくり「アートヴィレッジとうおん構想」				根拠法令	アートヴィレッジとうおん構想							
	事業の目的	最終的	アートヴィレッジとうおん構想に共感したアーティスト人材等の移住を促進し、演劇関連の雇用を創出します。			今年度	アートヴィレッジとうおん構想を広く周知するため、拠点となる施設「東温アートヴィレッジセンター」を最大限に活用した様々な周知PRを実施します。							
	活動内容	①	地域おこし協力隊がディレクターとなった、地域と連携した総合的なアートフェスティバルの開催。			④	8K技術による演劇の産業化。							
		②	アーティストの誘致・人材育成。			⑤								
		③	各種演劇体験プログラムの開発。											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標				
		本事業に関連した移住者数		国の交付金活用事業設定KPI		人	目標 20	20	30					
					実績 10	3								
					目標									
					実績									
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	総務			費				
	直接事業費	平成 29 年度決算		平成 30 年度決算		平成 元 年度予算		備考						
		国・県支出金		0 千円		19,973 千円		7,600 千円						
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源		0 千円		0 千円		0 千円						
		一般財源		0 千円		19,974 千円		7,900 千円						
	計(A)		0 千円		39,947 千円		15,500 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.596 人	3,654 千円	0.000 人	0 千円						
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.099 人	197 千円	0.000 人	0 千円						
	全体事業費(A+B)		0 千円		43,798 千円		15,500 千円							
CHECK・ACTION	一次評価者	地域振興係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	アーティスト人材等の移住を促進し、演劇関連の雇用を創出していくためにも、各種イベントなどを通じて「アートヴィレッジとうおん構想」を周知していくことは必要な取組です。												
	有効性	地域と連携した総合的なアートフェスティバル「東温アートヴィレッジフェスティバル」など年間を通じて様々なタイプの文化・芸術を市民に対し提供することができました。												
	達成度	本事業に関連した移住者の獲得にも繋がっているため、これからも継続して本構想を推進していくとともに、移住・定住促進に向けて働きかけていきます。												
	効率性	地域おこし協力隊や外部団体とが連携して、イベント運営に関するノウハウや技術等を共有しながら効率的な実施体制を構築することができました。												
	当面の課題	「アートヴィレッジとうおん構想」の取組を広く周知・PRするために、様々なイベントを継続して開催しているところではありますが、東温アートヴィレッジセンターの来館者数や貸館収入の面でまだまだ目標には届いていないのが現状です。												
	改 革 計 画	今後も行政と外部団体等が連携して、市民が気軽にアート・芸術に触れることができる機会を提供しながら、新たな顧客を掘り起こしていきます。												
	二次評価者	企画政策課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
	二次評価での指摘事項	とうおんアートヴィレッジフェスティバル等の開催を通じて、徐々に「アートヴィレッジとうおん構想」の認知度は向上していますが、更なる認知度向上に向け、広く周知・PRに努めてください。												